

令和6年度 東京工業大学基金奨学金 「プロテリアル奨学金」募集要項

東京工業大学では、創立130周年を契機として、蔵前工業会、同窓生をはじめとする皆様からのご支援ご協力を得て「東京工業大学基金」を創設いたしました。本基金は、本学の長期目標である「世界最高の理工系総合大学の実現」に向け、戦略的経営により教育・研究・貢献の質をさらに高めていくための様々な事業活動に活用していこうとするものです。

東京工業大学基金には、企業・団体、同窓生、本学関係者ご遺族などの本学に縁の深い方々より、学生の奨学を用途とすることを特定された篤いご寄附をいただいております。このたび、東京工業大学では、ご寄付いただいた方々のご意志を尊重し、平成24年3月に「東京工業大学基金奨学金」制度を設けるとともに、本学の発展に寄与された方および寄附者の方に深い敬意と感謝の意を表し、個人名・企業名を冠した奨学金を設立し、奨学生の募集を開始することといたしました。

1. プロテリアル奨学金設立の経緯及び目的

株式会社プロテリアルは、モビリティ、産業インフラ、エレクトロニクス関連分野を中心に、世界トップクラスの高機能材料を提供しています。1910年の創業以来、知恵と技術の融合、発展を繰り返し、2023年1月には社名を日立金属からプロテリアルに変更し、創業から100年余に渡る歴史の中で磨き続けた製品や技術、それを生み出すプロセスや人材をさらに進化させ、MATERIALで持続可能な社会の実現に貢献し続ける企業であることを目指しています。

本学では、株式会社プロテリアルからのご寄附を受け、向上心に満ちた学業優秀な者に対し経済的援助を行うことにより、確かな専門力、豊かな教養力、高度な課題解決能力、柔軟なコミュニケーション力、多様な展開力を身に付け、『グローバルに通用する実行力ある人材』の育成に資することを目的として当奨学金を設立いたしました。

2. 奨学生の資格

- (1) 令和5年10月現在、本学学士課程4年次に在籍し、令和6年4月に修士課程1年次に入学する者。かつ進学先の所属が工学院もしくは物質理工学院の者。
 - (2) 学業成績が優秀で、更に、学業の発展向上が期待できる者。
 - (3) 独創的な技術、製品及びそれを生み出すプロセス、人材に関する高い質の追求によって、新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指す者。
- ※ 他の給付奨学金等（東工大基金奨学金を除く）との併給可能。

3. 採用予定人数

2名

4. 奨学金の額

月額 50,000円

5. 給付期間

奨学金を授与する期間は、2年間（2024年4月～2026年3月）とする。

ただし、「12. 奨学金給付の廃止」に該当する事項が発生した場合を除き、短縮修了する場合はその期間とする。

また、休学をした場合は、休学した期間を当初の給付期間に加えた月までとする。また、廃止の事由に該当する場合は、この限りではない。

6. 出願の手続き

(1) **学内選考用書類一式**※ を PDF 化して、応募締切日までに学生支援課 (gak.kei@jim.titech.ac.jp) にメール添付で提出。

※学内選考用書類一式は大学 HP にてご確認ください。

(在学生の方>学費・奨学金>民間財団等奨学金>民間等奨学金について)

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/financial-aid/applications>

(2) 書類選考通過者は別途期日までに以下の書類を提出しなければならない。

① **基金奨学金申請書**（研究計画又は研究状況及び研究業績一覧含む）

② **小論文**（400字程度）

「持続可能な社会の実現に貢献できる人材とは。」

③ **推薦書**（指導教員に依頼。様式任意）

7. 応募締切

応募締切 令和5年11月10日（金）17:00 厳守 ※締切日時以降の到着分は受理しません。

学内選考通過者 追加書類提出締切 令和5年11月24日（金）

8. 奨学生の選考

(1) 第一次選考：書類選考 令和5年11月15日までに選考結果通知（メール）予定

(2) 第二次選考：面接選考 令和5年12月上～中旬予定（詳細は追って連絡）

(3) 奨学生の採用は、教育本部会議で審議の上、学長が決定し、本人に通知する。

9. 奨学生採用式

令和6年7月中旬～下旬開催予定の奨学生採用式に、出席すること。

その他、本奨学金に関し大学が実施する行事には参加すること（ただし修学上やむを得ない事情がある場合は学生支援課まで申し出ること）。

10. 奨学金の給付

奨学金は、奨学生の指定する口座に四半期毎に振り込むものとする。

11. 奨学金の休止及び復活

- (1) 奨学生が休学し、又は長期にわたって欠席したときは、奨学金の給付を休止する。
- (2) 奨学生が留学し、又は長期にわたって海外に滞在するときは、奨学金の給付を休止することがある。
- (3) 奨学金の給付を休止された奨学生が、その事由が止んで申し出たときは、奨学金の給付を復活することができる。

1 2. 奨学金給付の廃止

以下のいずれかに該当する場合には、奨学金の支給を廃止する。

- (1) 退学若しくは転学し、又は除籍になったとき。
- (2) 懲戒処分を受けたとき。
- (3) 傷病などのため成業の見込みがなくなったとき。
- (4) 学業成績又は性行が不良になったとき。
- (5) その他奨学生として適当でない事実があったとき。

1 3. 奨学金の返還

奨学生に、奨学生として適当でない事実があったときは、既に給付した奨学金の全部又は一部の返還を求めることがある。

1 4. 奨学生の異動届出

奨学生が、次のいずれかに該当するときは、速やかに学生支援課まで届け出ること。

- (1) 休学、復学、転学、留学若しくは退学し、又は長期にわたって欠席しようとするとき。
- (2) 住所、氏名、連絡先その他重要な事項に変更があったとき。

1 5. 報告書の提出

奨学生は、毎年度末に学習報告書を、学業成績証明書を添えて提出すること。

【照会先】

学務部学生支援課経済支援グループ
大岡山キャンパス Taki Plaza 1階
TEL: 03-5734-3014
FAX: 03-5734-3675
E-MAIL: gak.kei@jim.titech.ac.jp